

# D.A.Consortium

holdings

D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社

## 事業説明会

2018年6月26日

### <会社名略称>

DACHD : D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社

DAC : デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社

アイレップ : 株式会社アイレップ

※ 当社の設立は2016年10月ですが、2017年3月期は2016年4月～2017年3月を決算期とし、2016年9月までの実績はDAC連結実績(アイレップ連結を含む)で集計しております。

# 目次

---

- 企業情報
- 第2期(2018年3月期)決算概況
- 第3期(2019年3月期)方針

# 企業情報

---

# 沿革

1996年	12月	DAC	DAC設立
1997年	11月	IREP	アイレップ設立 (前身の(株)アスパイア設立)
2001年	7月	DAC	DAC上場 (現 JASDAQ)
2006年	11月	IREP	アイレップ上場 (現 JASDAQ)
2007年	12月	DAC IREP	共同出資会社を設立
2009年	6月	DAC	アイレップを持分法適用関連会社化
2010年	12月	DAC	アイレップを連結子会社化
2014年	9月	IREP	アイレップ東証二部へ市場変更
2016年	10月	DACHD	D.A.コンソーシアムホールディングス設立 東証二部に上場

# 概要

社名	D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社
設立	2016年10月3日
資本金	40億円
連結 従業員数	2,585名(2018年3月末現在)
所在地	東京都渋谷区恵比寿 恵比寿ガーデンプレイス
上場市場	東京証券取引所市場第二部(証券コード:6534)

# 出席役員のご紹介

氏名	役職名
島田 雅也	代表取締役社長 DAC代表取締役社長CEO
徳久 昭彦	専務取締役 DAC専務取締役CMO
大塔 達也	専務取締役 DAC専務取締役CFO
相坂 勇人	取締役 DAC取締役副社長COO
高梨 秀一	取締役 アイレップ代表取締役社長CEO
永井 敦	取締役 アイレップ取締役副社長CFO

# 主要株主（機関投資家は除く）

<2018年3月末現在>

株主名	議決権比率
株式会社博報堂DYメディアパートナーズ	42.90%
株式会社博報堂	7.69%
株式会社東急エージェンシー	1.71%
株式会社日本経済社	0.34%
株式会社テレビ朝日ホールディングス	0.25%
日本テレビ放送網株式会社	0.25%
株式会社東京放送ホールディングス	0.25%
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	0.25%
株式会社テレビ東京	0.12%
株式会社日本経済新聞社	0.12%

# D.A.コンソーシアムホールディングスの事業領域

グループ戦略統括

D.A.Consortium **holdings**

D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社

東証第二部上場

インターネット関連事業

パートナービジネス

<DACグループ>



クライアントビジネス

<アイレップグループ>

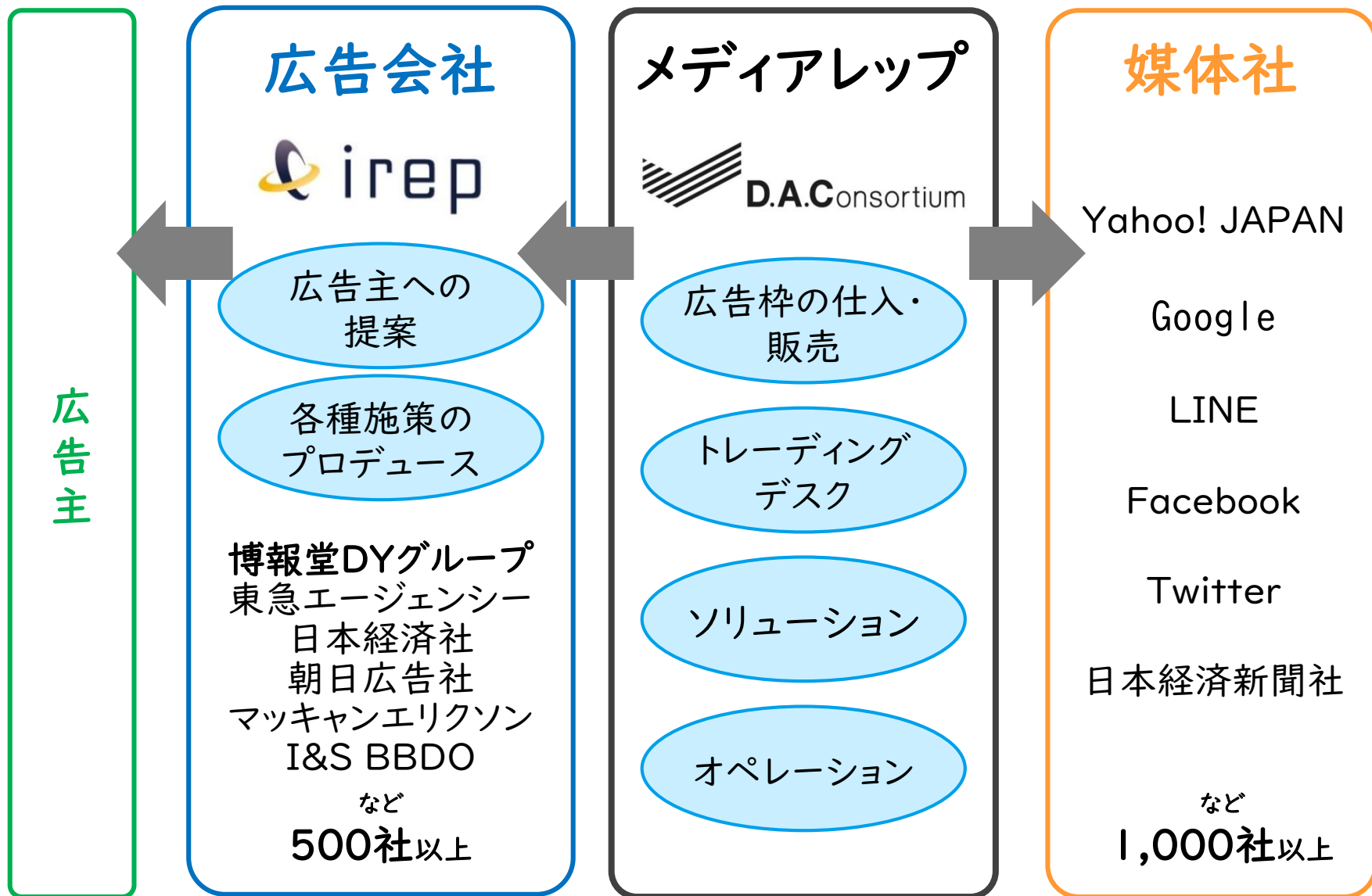


投資事業





# インターネット関連事業について



# 主なグループ会社一覧

## DACグループ



ユナイテッド 	博報堂アイ・スタジオ 	プラットフォーム・ワン 
アド・プロ 	トーチライト 	北京DAC 
台湾DAC 	DACアジア 	I-DAC 
Yengage Corporation 	DAC Tech Vietnam 	

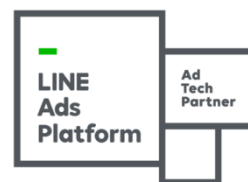
## アイレップグループ



ロカリオ 	シンクス 
NEWSY 	カラック 
DIGITAL MARKETING INDONESIA 	DIGITAL MARKETING VIET NAM 

# 2018年3月期の主な取り組み

- LINEの法人向けサービスの販売・開発パートナー制度で、**2年連続で最上位の「Diamond」に認定**、  
子会社の(株)トーチライトは、初の**「Ad Tech Partner」に認定**



- **コンテンツマーケティング、データ、グローバル**の分野において、  
様々な企業との提携・協業を開始

コンテンツマーケティング

データ

グローバル

TABI LABO



REVOLVER



MediaGroup

Tencent 腾讯

- **小学生向け学習まんが「インターネット広告のひみつ」**  
を全国の小学校と公立図書館に寄贈



# 2018年3月期の主な取り組み



- 2018年度 Yahoo! JAPANのエージェンシーカンファレンスで、「**総合賞**」と「**検索広告賞**」を同時受賞  
(総合賞は国内最多の13期連続)
- コマースマーケティングのテクノロジー企業 CRITEO社の代理店制度で、**最高評価**を獲得
- 成果報酬型広告の領域に定評のある**(株)カラック**を子会社化



- 新潟市に**クリエイティブ制作業務の拠点**を設立  
(2016年設立の高知市に続く2拠点目)
- 恵比寿ガーデンプレイスタワーに**本社**を移転

# 第2期(2018年3月期)決算概況

---

## 第2期(2018年3月期)業績

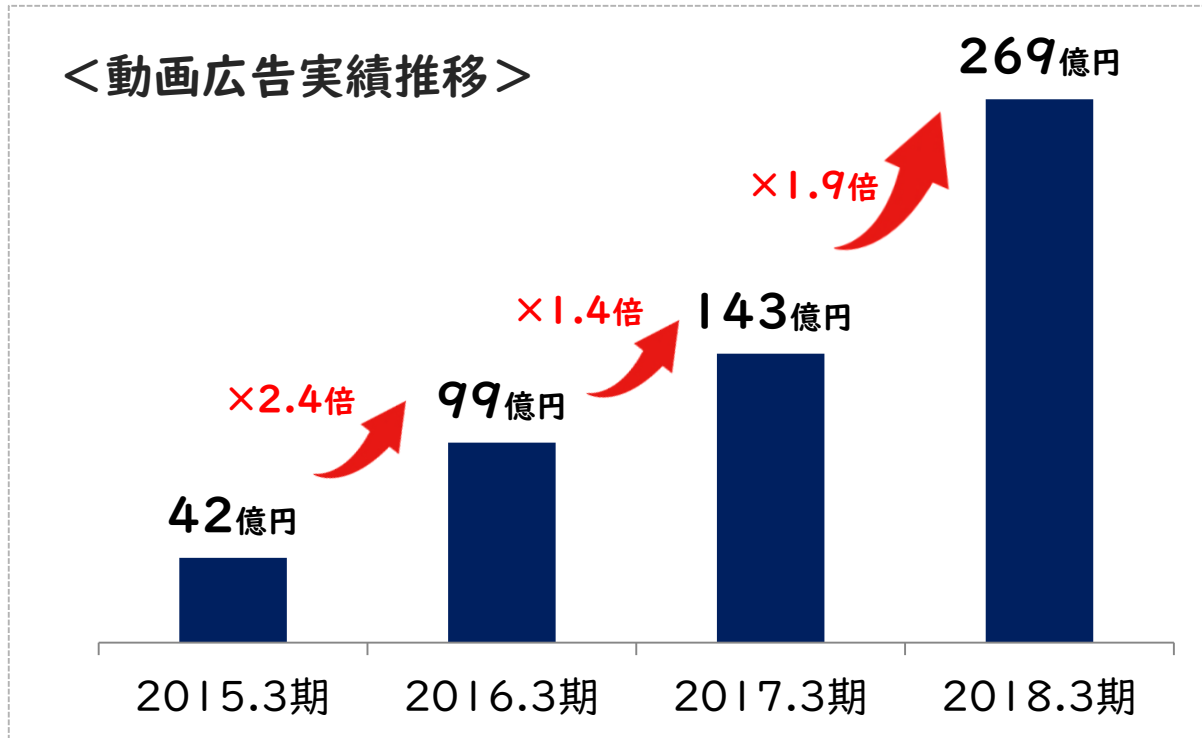
前年比は、第1期のアイレップ決算期変更影響を控除して算出しています。

(百万円)

	第2期(2018年3月期)	
		前年同期比
売上高	208,342	118.8%
売上総利益	28,857	115.9%
営業利益	8,805	129.1%
経常利益	8,799	236.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,366	20.8倍

## 第2期の主な成長要因

- 動画広告が前年比1.9倍の269億円に成長

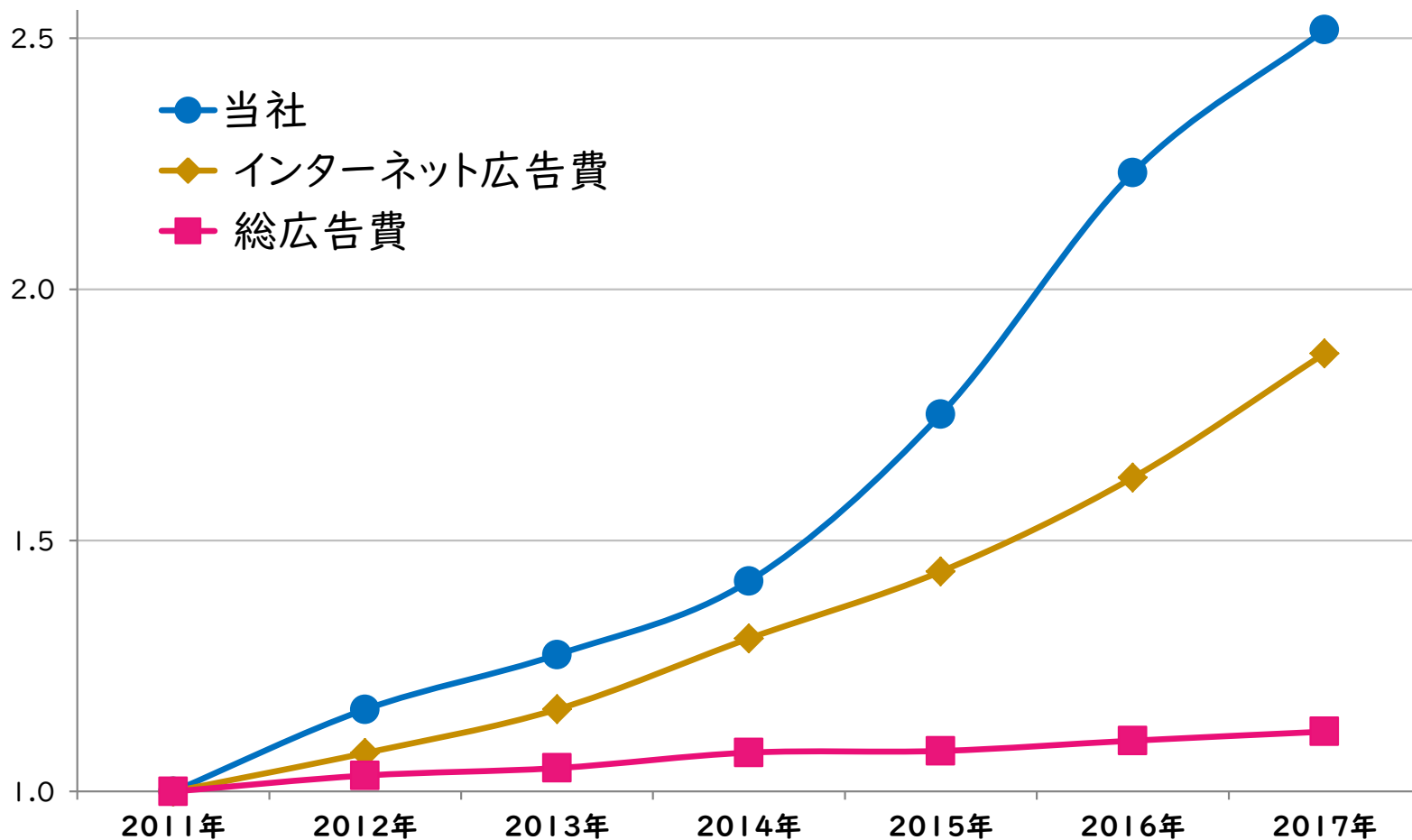


- DACとアイレップの経営統合による、運用体制の強化が奏功し、運用型広告が伸長

# 市場成長との比較

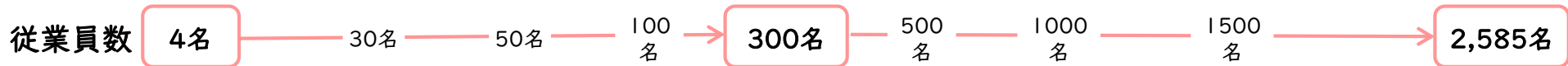
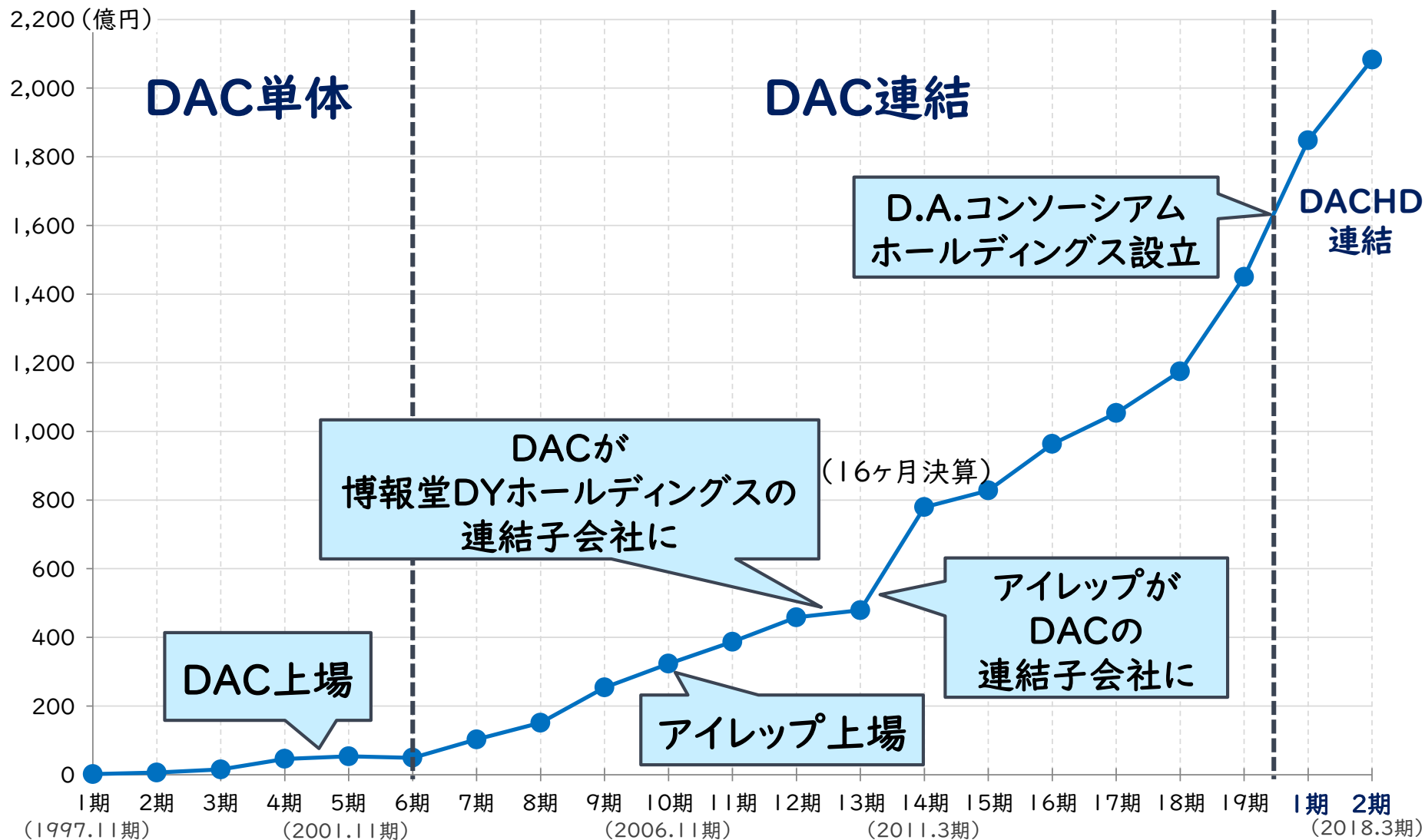
## 当社は市場成長を上回るスピードで成長

<2011年実績を1.0とした場合の売上高成長率推移>

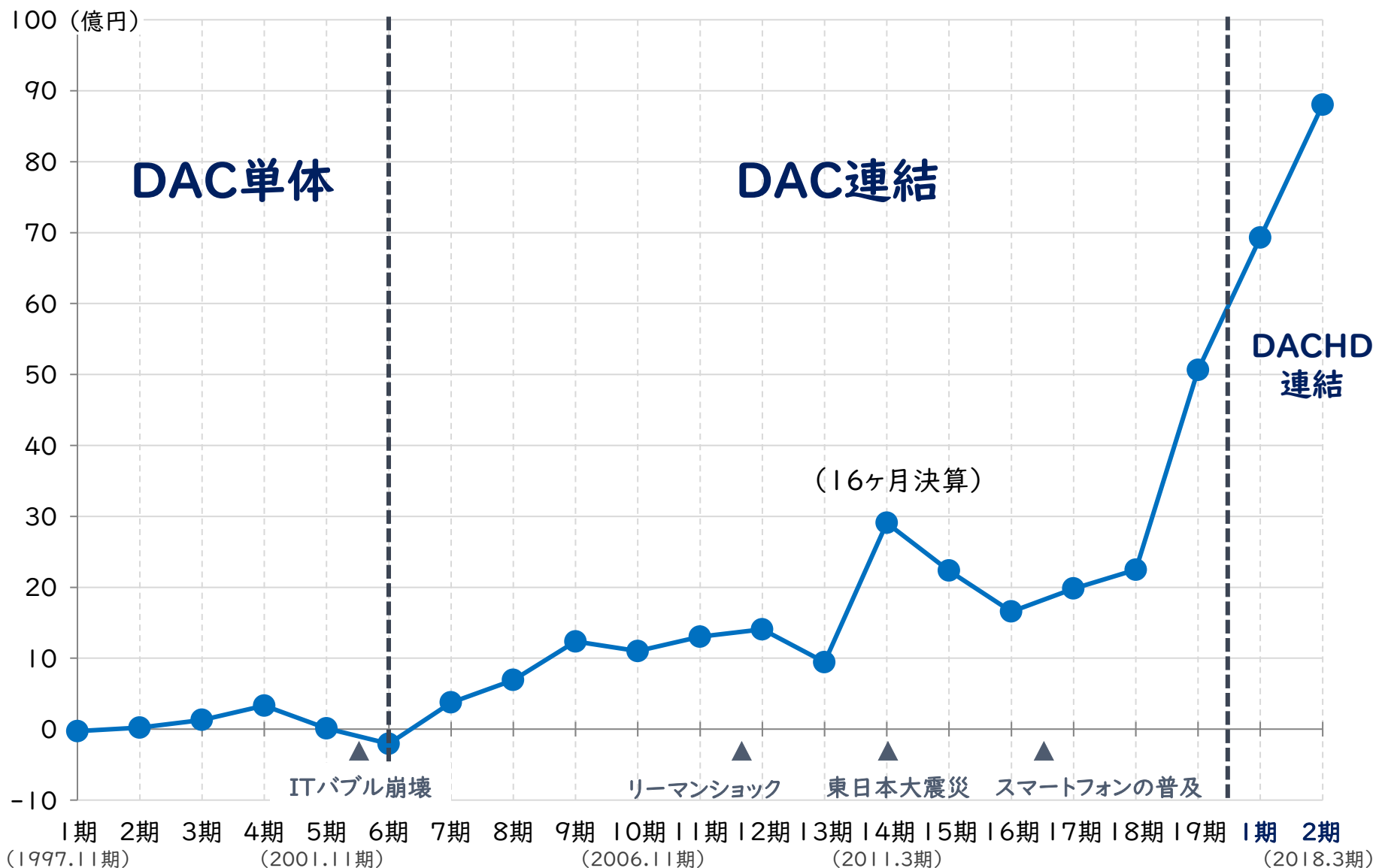




# DAC設立時からの売上高推移



# DAC設立時からの営業利益推移

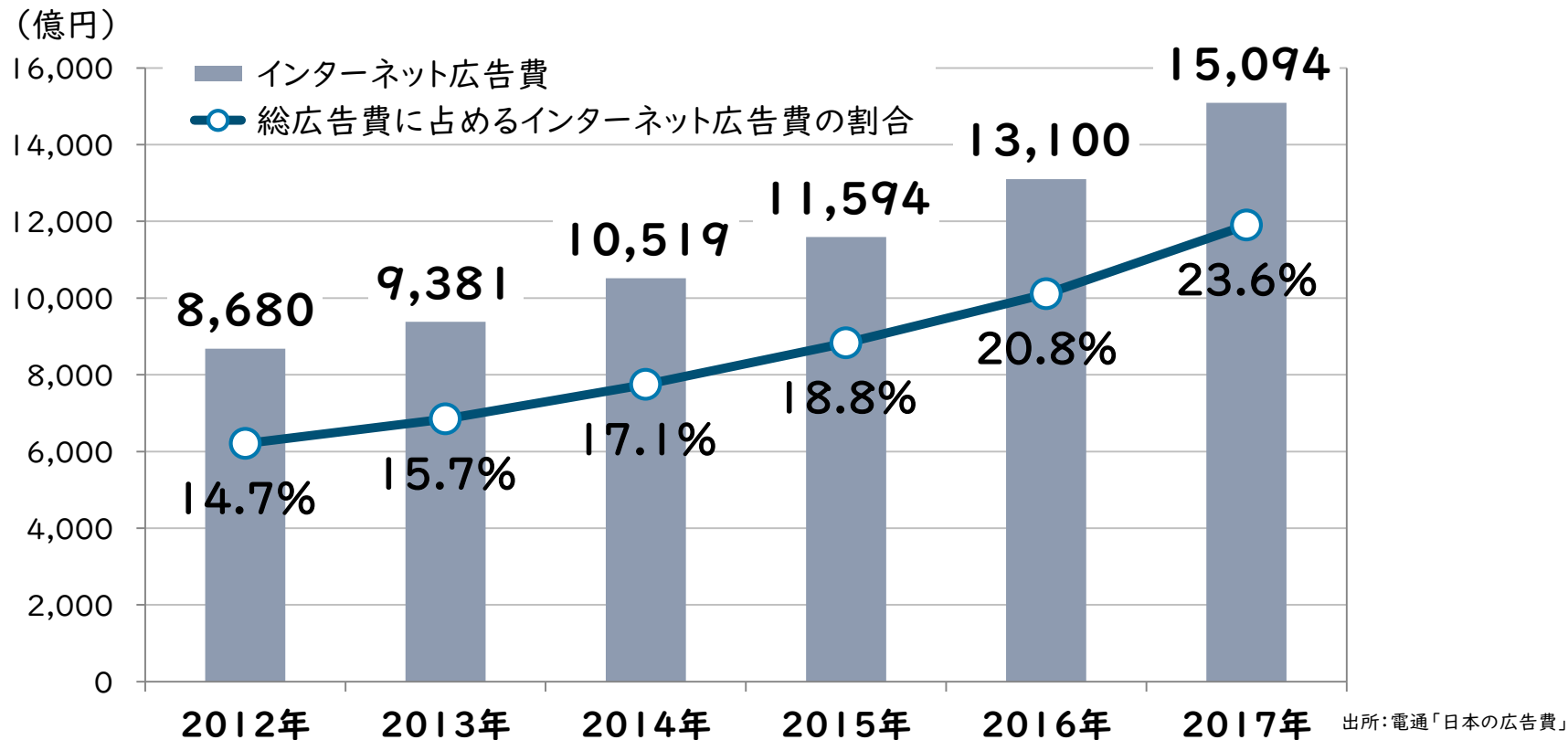


# 第3期(2019年3月期)方針

---

# インターネット広告市場概況

**インターネット広告費は1兆5,094億円となり、  
総広告費の23.6%を占める規模に**



**あらゆるメディアのデジタル化により、  
DACHDグループのビジネス範囲は広告市場全体へ**

# 当社グループを取り巻く環境

---

ビッグデータの利活用による広告市場の拡大

IoTやAIを活用した事業機会の広がり

データの取り扱い、広告効果等の透明性に対する  
関心の高まり

## 第3期(2019年3月期)方針

### ✓ 既存領域の競争力強化

- DACとアイレップの連携強化による収益の増大
- システム開発などによる生産性の向上
- 業界団体等と連携した、広告の信頼性維持・向上

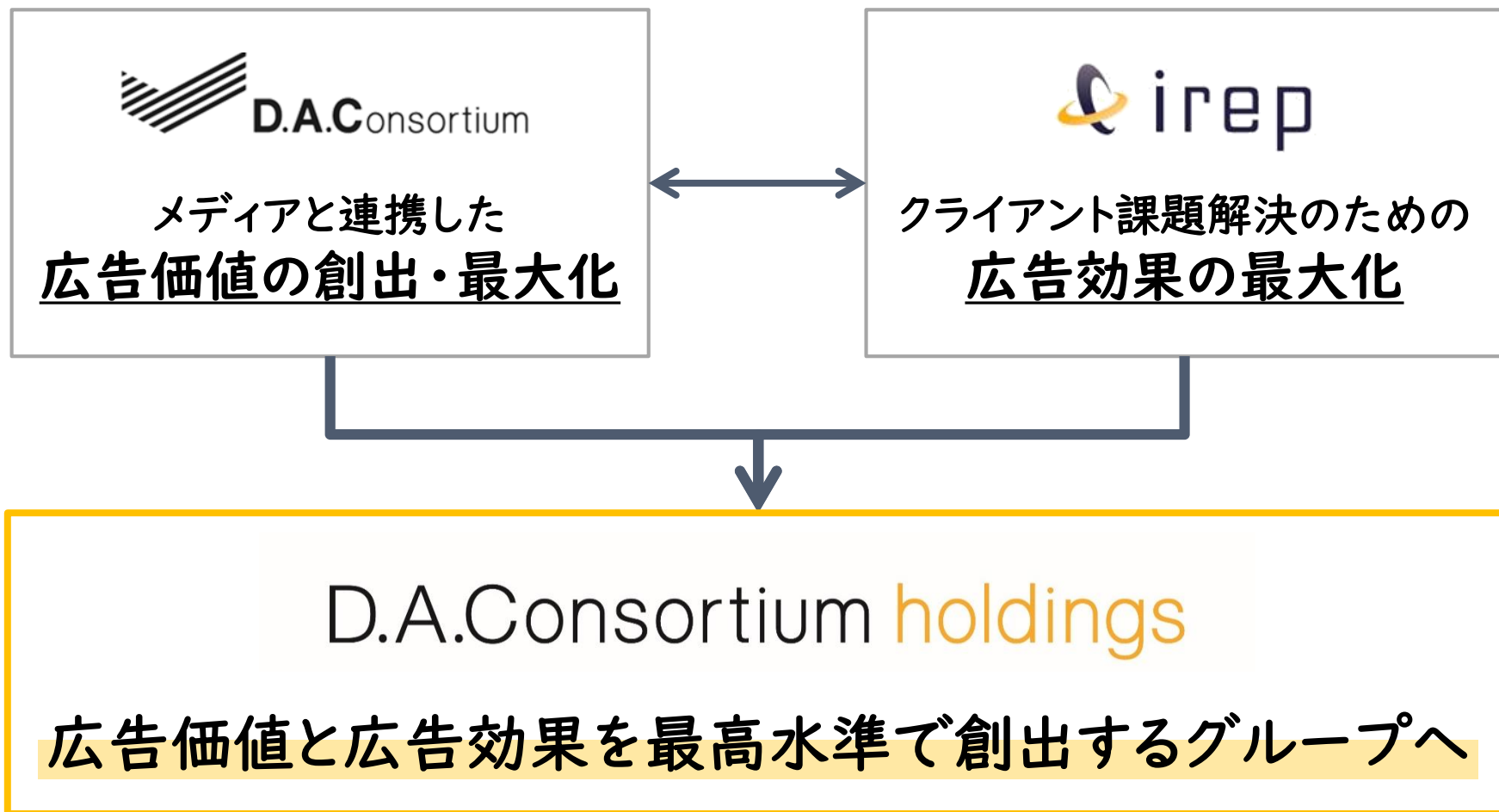
### ✓ 新成長領域への取り組み

- データ
- コンテンツ
- クリエイティブ
- CRM(顧客関係構築)

### ✓ 成長基盤確立のための先行投資

- 人材獲得・システム開発・M&Aなど
- 海外マーケットでの事業インフラ等の整備推進

# 当社グループの成長戦略



# 第3期(2019年3月期)業績予想

(百万円)

	第3期(2019年3月期)	
		前年同期比
売上高	260,800	125.2%
営業利益	20,500	232.8%
経常利益	20,500	233.0%
親会社株式に帰属する 当期純利益	8,500	194.7%



# D.A.Consortium

holdings

D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社

## 事業説明会

2018年6月26日

IRニューズメール配信サービスのご登録はこちら

<https://www.dac-holdings.co.jp/irmail>